

第6回 砂川市立小中学校統合準備委員会 会議記録

○日 時 令和4年12月20日(火) 18:00~19:02 (所要時間=1時間2分)

○会 場 砂川市役所 2階 大会議室

○出席者

【委 員】 18名

【教育委員会】 6名

【事務局】 5名

○傍聴者 0名

○議事記録

1. 開 会

2. 挨拶 統合準備委員会会長

3. 報告事項

- ・砂川市義務教育学校の建設形態決定について
- ・砂川市義務教育学校建設形態決定に係る市民説明会について
- ・スクールバスの実証調査運行について
- ・学校間連携事業について
- ・義務教育学校の制服等に関するアンケート結果について

【議事の内容(要旨)】

事務局

・砂川市義務教育学校の建設形態決定について
1点目、「砂川市義務教育学校の建設形態決定について」になります。こちらは、前回、11月8日の第5回の本委員会において教育委員会技監より「砂川市義務教育学校建設基本設計・実施設計整備調査業務の進捗について」ご説明させていただきましたが、9つのパターンについて、施工中や完成後の状況、コストなど、比較検証を行い、庁内での協議を経て、建設形態については新築とし、配置については校舎および体育館を敷地内の北側、グラウンドを敷地内の南側に配置することを決定しました。議案の配置パターンでは「A-④」になります。前回お示しした評価項目の比較では「A-③」「A-④」「B-③」が総合的に評価の高い案となりましたが「B-③」では完成後のグラウンドが不整形となることで野球場のスペースに制約があり、また体育館の改修時期に体育館が利用できなくなります。「A-④」は他の2案と比較すると、校舎建設と同時にグラウンドの一部を先行して整備ができるため、授業への影響を最小限に運用できることで児童生徒への負担が少なくなります。また、「A-③」と比較しても教室からの眺望や南側

住宅地との関係性も距離を取れるため良好であることなどから、「A-④」が高い評価となりました。なお、市のホームページにおいて整備調査報告書等のデータ等を掲載しておりますので、ぜひご覧いただきたいと思います。

事務局

- ・砂川市義務教育学校建設形態決定に係る市民説明会について

2点目、「砂川市義務教育学校建設形態決定に係る市民説明会について」になります。今回の建設形態の決定に伴い、明後日の12月22日木曜日に地域交流センターゆうの大ホールにおいて、「砂川市義務教育学校建設形態決定に係る市民説明会」を開催することとしました。既にホームページや広報すながわの12月15日号、小中学校の保護者や教職員については、各学校にご協力いただき一斉メール配信サービスでも周知させていただいております。

事務局

- ・スクールバスの実証調査運行について

3点目、「スクールバスの実証調査運行について」になります。前回の本委員会でスクールバスの購入についてご報告しましたが、そのスクールバスを使って、次年度からの本格運行に備え、11月から3月までスクールバスの実証運行を行います。11月には、4日と15日の2回行っておりますが、4日は来年度から想定している3経路について、安全と所要時間を確認するための乗客を乗せない無人運行を行い、15日には石山中学校の1・2年生にご協力をいただいて、実際に想定している停留所から乗車してもらい、同様の運行経路で模擬登校を実施しました。3経路のうち、2経路では時間通りの運行ができましたが、1経路で信号の状況もあり4分程度の遅れが発生しました。今回の実証運行で見えた課題としては、1経路に若干の遅れが出たこともありますので、時間設定について見直しを行いたいと思います。また、スクールバスの到着時間と保護者の送迎の車との動線がぶつかりますので、その対策について検討していきたいと思います。もう一点として、スクールバスが到着後敷地内で旋回して車庫に戻るのですが、到着してすぐだと、徒歩や自転車で登校してくる生徒と同じ時間帯になりますので、事故防止として、バス到着後8時20分の登校時間が過ぎてから旋回するなどの対応について検討していきたいと思います。なお、今後においても、積雪後の実証運行等も行っていくしますので、都度課題について分析、対応の検討をしていきたいと思ひますし、本委員会においてもご報告させていただきます。

事務局

- ・学校間連携事業について

4点目、「学校間連携事業について」になります。学校間連携事業の一つ目、「砂川中・石山中生徒会交流会」は、11月18日に両中学校の生徒会主催で「両校生徒が統合を前向きにとらえ、お互いのことをより理解できる場を設け、4月以降の学校生活に対して意欲と希望を持たせる」ことを目的に交流会が実施されました。参加者は砂川中学校1年生77人、2年生75人の計152人、石山中学校1年生22人、2年生30人の計52人です。交流会では砂川中学校生徒会長から、「このメンバーで学校生活を送るのが楽しみ」との挨拶があり、その後、砂川中学校生徒会からは校舎や授業について、石山中学校生徒会からは体育祭や学校祭などについてパソコンを使い工夫を凝らした学校紹介がありました。次の部活動紹介では、

砂川中学校が9部活動、石山中学校の2部活動の特色を各部長が紹介し、石山中学校にしかない卓球部は実演を交えながらの紹介が行われ、生徒たちからは歓声が上がっていました。その後は両校に関するクイズをみんなで楽しみ、石山中学校生徒会長から「新しい人間関係の中で、充実した学校生活を送りましょう」と統合に向けた抱負が語られました。両校の生徒会の皆さんの頑張りでもとても素晴らしい交流会となりました。

続いて、学校間連携事業の2つ目、「砂川中・石山中1年生交流会」は、12月13日に砂川中学校の体育館で両校1年生を対象に実施され、砂川中学校1年生76人、石山中学校1年生23人が参加しました。内容については、両校生徒を4つのグループに分けて、大縄跳び、ドッジボール、クイズなどのレクリエーションを実施し、みんな楽しそうに参加していました。こういった積み重ねで、一人でも多く統合の不安が、期待に変わってくれると良いと思いますし、石山中学校生徒の感想にもありますが、少しずつ関係を深めてくれると良いのかなと思いました。

続いて学校間連携事業の3つ目、統合に向けた授業交流は、11月に1年生3回、2年生3回、それぞれ2時間ずつ体育の授業で柔道を実施しています。授業交流については、それぞれの学校で授業の進度の違いもあり、何度も実施できるというわけではありませんが、今後についても、スクールバスの実証運行も兼ねて実施を予定しておりますので、その際にはご紹介したいと思います。

次に小中連携事業の乗り入れ授業についてですが、これは、中学校教員の専門的な指導を早期に受けることにより、児童が中学校の授業に慣れることで入学に向けての円滑な接続が図られることを目的に、中学校教員が小学校へ来て授業を実施する事業になります。中央小学校で、11月17日に英語、22日に算数、12月8日に体育、豊沼小学校で11月17日に体育の授業を行いました。中央小学校の英語と体育は砂川中学校、算数は石山中学校の先生、豊沼小学校は石山中学校の先生が授業を行い、どの授業も子ども達が、楽しそうに授業を受けていました。体育の授業は跳び箱とマット運動でしたが、飛び方や回り方、倒立の練習方法などが、専門的な指導だと感じましたし、また、子ども達も中学校で行う体育の授業内容を聞いたり、中学生が実際にとび箱を行っている授業風景を映像で見たりして、中学生の身体能力の高さに憧れる児童や、「難しそうだけど挑戦してみたい」という意欲的な児童が多く見受けられました。また、児童の感想として、「中学校の勉強が楽しになった」や「中学校に行って先生に会うことが楽しみ」といった感想がありましたので、とても良い取り組みだと実感できました。また、砂川小学校、空知太小学校、北光小学校においても実施する予定ですし、次年度以降においても継続して実施する予定でありますので、都度ご報告させていただきたいと思います。

・義務教育学校の制服等に関するアンケート結果について

事務局

それでは、報告事項の5点目、義務教育学校の制服等に関するアンケートについてご報告します。本委員会で協議していただきましたアンケートについて、11月22日から12月5日の間で実施しました。諸事情があり、今回お配りしたアンケート結果に石山中学校の3年生の結果が反映されていませんので、後日集計し

たものを配付します。

アンケート調査の概要ですが、対象者は、①小学生用アンケートは市内5校の小学校4年生～6年生、②中学生用アンケートは砂川中学校と石山中学校の生徒、③保護者用アンケートは、市内小中学校の児童生徒の保護者及び市内に住む保育所・幼稚園の園児の保護者、④教職員アンケートについては、市内小中学校に勤務する教職員となっております。

各アンケート結果の要点について説明します。小学生用のアンケート結果では、2ページ、問4、「小学校も中学校が決めている制服やジャージがあったほうが良いと思いますか」という問いに対しては、ある方が良いが31%、ない方が良いが49%となっております。また、制服の形については、ブレザーが66%という結果となっております。

中学生用のアンケート結果では、3ページ問2-1及び4ページ問3-1の制服、ジャージを着用することとした場合の学年については、どちらも8割近くが中学1年生にあたる7年生という回答でした。問2-2、制服のタイプはブレザー、問2-3、制服の着用場面は、ジャージも可とするが79%、問2-4制服で過ごす場面については、参観日とテスト当日が少ないですが、それ以外は同程度選ばれています。

保護者用のアンケート結果では、7ページQ3の制服及び8ページQ8のジャージの着用開始学年は、7割程度が7年生からという回答でした。8ページ、Q5、制服着用場面については、65%がジャージも可とするという回答で、制服で過ごすべき場面は、行事や校外学習が多い結果となっています。また、Q6及び9ページQ10の制服・ジャージ選定の際の価格以外の重要視するものは、5割以上が機能性という回答でした。続いて10ページ、制服の導入年度については、「令和6年度の1年生から導入」「令和8年度の7年生から導入」「いつでも良い」がほぼ同割合という結果になっています。

教職員用のアンケート結果では、12ページQ5-2指定制服の着用場面については、行事が100%、次に校外学習が76%となっております。中学生や保護者と違う点が、テスト当日が教職員は50%と多い結果となっています。また、14ページQ15制服の導入時期については、令和6年度の1年生からが36%、令和8年度の7年生からが45%となっております。

また、アンケート集計の後ろには、それぞれの自由記載の意見を記載しております。保護者用自由意見は、小学生の保護者は(小)、中学生の保護者は(中)、幼稚園・保育所の保護者は(園)となっており、小学校と中学校にお子さんがいる保護者は(小・中)、保育園と幼稚園や別々の保育園にお子さんがある保護者は、(園・園)と記載しておりますし、教職員については、小学校の先生は(小)、中学校の先生は(中)と記載しております。今回の自由意見を含むアンケート結果を参考に、次回以降の統合準備委員会において、義務教育学校の制服をどのようにするか協議させていただきたいと思っております。また、制服導入時期について、令和6年度にするのであれば、2月頃までに決定することが必要かと思えます。また、今回のアンケート結果は皆様の貴重な意見として尊重されるべきものでありますが、決して多数決ではありませんので、今回頂きましたご意見等を尊重しながらも、本委員会に置いてしっかりと制服の在り方等議論していただき、

方向性を見出せるよう事務局として考えておりますので、委員の皆様のご協力を
よろしく申し上げます。

質疑、意見等

会長 「砂川市義務教育学校の建設形態決定について」「砂川市義務教育学校の建設形
態決定に係る市民説明会について」質問、意見ありますか。義務教育学校の建設
形態については、前回の会議で事務局より模型等を用いて説明を受けており、私
は、一番良い建設形態を選んでいただけたと思っています。

次に「スクールバスの実証調査運行について」、まだ雪が降る前の実証調査運行
なので、大雪が降った時の運行が気になりますが、現状は、3経路のうち、1経
路で4分程度の遅れが発生することがわかりました。質問、意見ありますか。

委員 最近の大雪で、スクールバスの行路に予定されている道も含めて、あかね団地
は普通の自家用車でもすれ違えない状態になっています。さきほど、北光の停留
所に予定されている場所も通りました。まだスクールバスは運行していないので、
停留所と道路の間には雪の壁がありました。今の経路だと4～5分の遅刻では済
まないと思いますが、経路を変えるのも難しいと思うので、根本的に冬道の問題
について検討いただければと思います。

会長 除雪については、砂川市が行う前提だと思います。私は、子ども達が雪の中で
待つということが心配です。他どうでしょうか。

次に「学校間連携事業について」ですが、石山中学校の閉校に関して何かあり
ますか。

委員 記念式典は、たくさんの人達に協力をいただきながら、良い形で開くことがで
きたと思います。子ども達の心の中に石山中学校を残すという意味でも素晴らしい
式典にさせていただいたと感じています。ありがとうございます。

会長 砂川出身の歌手の歌がとても良かったという話を伺いしましたが、その点につ
いて、何かありますか。

委員 以前に聞いていただいた青年会議所と砂川出身の歌手と一緒に作った歌も吹奏
楽部の演奏に合わせて歌っていただきました。さらに、今回は、石山中学校オリ
ジナルの思い出の歌『最後のチャイム』を新たに作曲して歌っていただきました。
とても良い歌なので何かの機会に聞いていただきたいと思います。

会長 他どうでしょうか。それでは、「学校間連携事業について」は終わります。
次に「義務教育学校の制服等に関するアンケート結果について」です。アンケ

ート結果を読んで、いろいろな意見があるということがわかりました。質問、意見ありますか。

委員 今回のアンケートは、令和8年度の義務教育学校の制服についてですが、アンケートに回答している人は、現在の自分に当てはめて回答していると思います。なので、子ども達の「勝手に決めたのに」というような声は、中学校の統合に対して、そのような思いを持っている中学生がいるということになります。その思いを持ったまま義務教育学校になった時に、本当に良い学校になっていくのか疑問に思います。今回のアンケート結果から今すぐ検討できることは検討して、取り入れるものについては、今の段階から考えていただきたいと思います。特にジャージ登校については、生徒の79%が「ジャージ登校を認めてほしい」と言っています。今回のアンケート結果に石山中学校の3年生が入っていないので、最終的には80%を超えたいと思います。保護者の65%と教職員の74%からも「ジャージ登校を認めてほしい」という意見が出ています。ジャージ登校については、統合準備委員会で検討が可能なら検討して欲しいですし、できないなら、ジャージ登校を求める皆さんの声を真摯に受け止めていただきたいと思います。

会長 ジャージ登校になるとすれば、どのような手続きで進めていくのですか。

委員 前回の会議でも、少しお話しさせていただきましたが、今回のアンケートは、義務教育学校の制服に関わるアンケートではありますが、学校側も子ども達と保護者が持っている思いを数値として知りたいと思っていました。制服の着用については、両校の職員でワーキンググループを開いて、協議するという事で、昨年度の会議の中でも任せられ、これまでも協議を進めてきていますので、今回のアンケート結果をもとに両中学校で方向性を示していきたいと考えております。

会長 中学校間で検討中ということになります。

委員 小学校のアンケートで「制服やジャージがあった方が良いですか」という質問に「ない方が良い」という回答が49%あります。多分、小学生は、この質問の意味も分からないで、今、自分が学校に行く時に私服なので「ない方が良い」と回答しているのだと思います。今の時期から小学生に制服の意味等を説明して、それから意見を反映してほしいと思います。そして、前にも言ったのですが、統合準備委員会は、意見を出し合って、基本的なことを話し合う場所だと思っています。制服に関しては、統合準備委員会ではなく、制服はいらないという意見の人、制服は必要という意見の人、説明を受けて制服の意味を分かった子ども達、そういう人達が参加して、最初の段階から話し合う場所を設けるべきだと思います。まだ令和8年まで時間があるので、早めて議論を進めるのではなく、みんなが納得できる結論が出るように令和8年までしっかりプロセスを通して決めていって欲しいと考えます。

事務局 委員の発言も踏まえながら、今後の進め方については、改めて事務局でも検討

させていただきます、次回以降、提案をさせていただければと思います。

4. 協議事項

- ・スクールバスの運行について

【議事の内容（要旨）】

- 事務局
 - ・スクールバスの運行について
「スクールバスの運行について」ですが、協議事項は、前回に引き続き、スクールバスの利用の手引きと緊急対応マニュアルについての2点となります。
スクールバス利用の手引きについて、前回会議でご意見を頂戴し、内部協議を行い、内容の変更を行いましたので、12月20日時点の修正版として、お示しさせていただきます。
手引きの5ページをお開きください。スクールバスが急な悪天候で遅延となり、生徒に危険が生じる可能性がある場合における停留所の対応になりますが、教育委員会の現場急行を基本としながら、状況によっては地域の方にご協力をいただき、近隣施設の開放や、地域住民による様子確認など、地域と連携できるように今後対応します。ただし、悪天候時は見守る地域の方にも危険が及ぶ可能性もありますので、画一的な対応ではなく、都度中学校や関係部門と連携しながら対応させていただきます。次に8ページをお開きください。新型コロナウイルス感染症についての記載ですが、スクールバスの利用の有無にかかわらず、発熱や風邪症状がある場合に登校しないことは共通の対応ですので、上段に大きく記載はせずに、下段に注意事項として記載することとしました。
続きまして、緊急対応マニュアルについてですが、こちらも同様に内容を精査し変更しました。5ページをお開きください。ミサイル発射に伴う警報についての対応ですが、市のマニュアル、また両中学校の危機管理マニュアルを参考に作成し、内容として、砂川市には都市部のように大きな建物が数多くあるわけではありませんので、可能な限り頑丈な建物へ避難をし、近くになればそれ以外の建物に避難すること等の対応とします。
- 会長
 - 手引きの2箇所修正がありました。質問、意見ありますか。
- 委員
 - バスの遅延で遅刻しても、それは遅刻にはならないですよ。大丈夫ですね。「スクールバスを利用しない場合は、学校などに連絡の必要はありません」とありますが、中学生ならいいですが、小学生が乗ようになった時は、どこかで迷子になっている可能性もあるので、ルールを変えないといけないと思います。もしくは、子どもがカードを機械に読み込ませ、学校と教育委員会等に情報が共有できるシステムを導入したら良いと思います。今の「スクールバスを利用しない

場合は、学校などに連絡の必要はありません」というルールは、中学生は、家から停留所までに事故や不測の事態は起こらないと想定しているということによろしいですか。

事務局 ただいまの質問については、手引きに記載されている形で進めますが、以前の会議でも ICT の活用という意見がありましたので、現在、検討を進めているところであり、今後、実証調査運行を重ねながら、より良い方向で進められるように検討していきたいと思えます。

委員 4 ページの「乗降者について」という部分に「防犯対策」と記載されていますが、「子ども達の確認をしっかりとする」というのは「安全対策」だと思います。

事務局 こちらの文言については、修正したいと思います。

会長 他どうでしょう。

委員 新型コロナウイルスの関係ですが、令和 5 年度版ということで、来年度のことを考えると、新型コロナウイルスの影響で必ずマスクを着用しなければならないという状況ではなくなる可能性もあると思えます。例えば、「新型コロナウイルス等の感染症対策のため、必要な場合は、マスクの着用にご協力ください。」という感じの文章が良いと思えます。

事務局 砂川市教育委員会としては、北海道教育委員会からの指示により、都度、対応についても変えてきています。ですので、新型コロナウイルスの対応については、北海道教育委員会から指示があった段階で柔軟な措置を取っていききたいと思います。

会長 手引きに関しては、この内容で進めていきます。
次に「スクールバスの緊急対応マニュアル」に関して、質問、意見ありますか。

委員 Jアラートの関係ですが、こちらも北海道教育委員会からの指示でこのような対応なのですか。Jアラートが鳴っても、ほとんどの場合が「通り過ぎました。」という状態なのに、Jアラートが鳴る度に、子ども達が避難して草むらで伏せる必要はあるのですか。逆に、ミサイルが飛んできたら、バスに乗っていても、バスの横で草むらに伏せていても意味がないと思うのですが、何を基準にしているのですか。

事務局 今回、記載した内容は、両中学校の危機管理マニュアルを参考にしています。そして、石山中学校の危機管理マニュアルが北海道教育委員会のマニュアルを参考にしており、内容を確認すると、市のマニュアル等と同じような内容になっていました。

委員 学校でJアラートが鳴った時も、そのような対応をしているということですか。目の前の校長先生が頷いているので、そのような対応をしているということですね。

会長 Jアラートの対応についても国の方針で決まっているということなので、国の方針が変われば、随時、変更して柔軟に対応できればと思います。他よろしいでしょうか。それでは「緊急対応マニュアル (Ver. 1)」は、こういう形で進めさせていただきますので、よろしくお願いします。これで協議を終わります。

5. その他

【議事の内容 (要旨)】

会長 その他、何かありますか。

委員 昨年度と今年度の6月に、中学校の統合に向けてのアンケートを生徒と保護者を対象に取りました。次年度の3年生の教室環境については、非常に心配する声が多く見受けられました。これについて、来年の3年生が統合後120人となり、特別支援の生徒も含まれているので、3学級でいかなければならないという決まりがありましたが、統合後の不安や昔と比べて教科書と机の天板も大きくなっていること、新型コロナウイルス感染症の拡大防止として、机の間に距離を取らなければならないことなどを考慮して、限られた職員の配置を相談を重ねて調整して、次年度の3年生については、4学級体制、1学級約28人とすることとしました。統合に関わって「良い条件でスタートしたい」という思いから教育委員会とも相談して決定しましたので、お知らせします。

会長 4学級になれば、教室の広さの問題はなくなると思いました。1、2年生については、3学級のままということになります。
他どうでしょうか。

事務局 建設形態が決定して、今後、本格的に基本設計の業務を進めていくこととなります。教育委員会では、市民参加による学校建設を目指すため、市民ワークショップを現在検討しています。その始めとして、子どもワークショップを令和5年1月21日土曜日10時から地域交流センターゆうで行う予定であり、参加していただく小中学生は、各小中学校にお願いをして選出いただいています。子どもワークショップ終了後、2月以降に一般の方向けのワークショップ等も予定していますので、適宜、統合準備委員会、広報すながわ、市ホームページ等で周知させていただきたいと思えます。

会長 ワークショップで話し合う内容は、学校の建設についてですか。

事務局 今回のワークショップは、子どもも一般の方も建設について、こちらからテー

マを投げかけて、そのテーマに沿って意見交換をしていただくということを考えています。

会長 時間があれば、ご出席いただきたいと思います。
事務局、建設形態決定について何かありますか。

事務局 形態決定については、統合準備委員会でも中間報告をしましたが、新築で最終決定しました。財源的な部分も非常に大きな要素でしたが、市長からも財源については、事業調整を行い確保できるという判断をいただき、今回決定しました。引き続き、実際的な基本設計を進めて参りますが、できるだけ市民に参加いただく機会と子ども達が思っていることを吸収する機会を設けて進めていきたいと考えていますので、よろしくお願いします。

会長 その他、何かありますか。

事務局 次回の日程について、令和5年1月31日火曜日18時から市役所2階大会議室で開催したいと思います。

会長 今回は、令和5年1月31日火曜日18時から市役所2階大会議室で開催したいと思います。それでは、第6回砂川市立小中学校統合準備委員会を閉会します。皆さん、ありがとうございました。

以 上